

令和 7 年度 西白井公民館 事業計画 (案)

1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

(1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・中高生などの参加できる事業が充実していない。
- ・講座や事業の参加者が高齢化している。
- ・自主事業からサークルに移行することがない。

2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

令和7年度 西白井公民館 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・子どもから高齢者、障がい者まで利用しやすい場を築き、発展性のある情報を共有する
- ・地域の学校や商店と連携を図り、市民参加を促進していくと共に活躍できる場を提供していく
- ・自主事業を実施しながら、リーダーの育成につとめる
- ・住みやすいまちをつくるため、地域と協働しまちづくり協議会の設立を目指す

（2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 （1）	①子育て中の保護者同士が交流し、お互いに支え合える仲間を作る ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る ③子育て中の問題を解決できる手だてを学ぶ
青少年教育 （2）	①考え方や性格の異なる人同士が交流し、社会性を養う ②様々な学習活動に取り組むことで、学ぶことの楽しさや充実感を実感する ③講座を通し考察力や表現力を身に付け、コミュニケーション能力を高める ④自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 （3）	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する ②レクリエーションや運動により、加齢による能力の低下を予防する ③情報共有し、自身や地域の抱える身近な問題の解決方法を考える ④より良く快適に生活するための知恵を身に着ける ⑤高齢者や子育て世代の生活を充実させる
団体育成 （4）	①地域で活躍する人材と協力し、活動の発展や新たな活動の場を作り出す ②地域住民が交流し、活動に取り組むための仲間作りの場を提供する ③活動が停滞した団体をサポートし、活動状態が盛んになることを目指す

（3）令和7年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・幅広い年齢層が積極的に参加でき、活気に満ちた活動ができるように、西白井複合センターまわりに重点をおく
- ・高齢化している参加者の健康増進をはかる講座に重点をおく
- ・小中高生が参加しやすい運動のできるレクホール開放に重点をおく
- ・水彩画を描くことで誰でも自己表現しやすく、満足感を得られる講座に重点をおく

3 西白井公民館 講座等実施計画書

(感染症等の影響に関係なく、現時点での予定を記載のこと)

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R6年度(含見込)	
家庭教育 (1)	おやこ広場	①②③	11	回	110組220	人	111組241	人
	ママヨガタイム	①③	1	回	10	人	6	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
青少年 教育 (2)	将棋のじかん	①②④	12	回	72	人	72	人
	夏休み子ども工作教室	①②③④	1	回	20	人	7	人
	アートで遊ぼう	①②③	3	回	24	人	19	人
	レッツクッキング	①②③	2	回	24	人	22	人
	読書感想文の書き方教室	②③	1	回	8	人	6	人
	書き初め練習会	①②	1	回	12	人	12	人
	親子でパン教室	①②	1	回	12組24	人	10組23	人
成人 教育 (3)	男女共同参画事業 エンディングノートを書いてみよう	①③④	1	回	15	人	18	人
	初心者向けスマホ教室	①④	2	回	20	人	20	人
	しろいネクスト5.10 生物多様性を考えよう、みりよく発見	①②③	3	回	40	人	24	人
	40歳から始めよう!	①②④⑤	3	回	47	人	40	人
	遺言と相続を考えよう	①③④⑤	1	回	15	人	新規	人
	大人のパン教室	①④⑤	1	回	15	人	15	人
	はじめての和菓子講座	①④	2	回	20	人	20	人
	水彩画教室	①④⑤	1	回	5	人	7	人
団体育成 (4)	手芸カフェ	①②	6	回	60	人	121	人
	語学教室	①②	4	回	40	人	新規	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人

(2) 講座以外に行う事業 (※箇条書きで)

- ・公民館利用者連絡協議会
- ・西白井複合センターまつり (3回の調整会議含む)
- ・ともしびのタベ i n 白井
- ・レクホール開放

(3) 情報の提供 (※箇条書きで)

- ・ポスター掲示 (自館、他館、掲示板、外部施設)
- ・広報しろいへ掲載
- ・西白井複合センターだより、児童館だより、自主事業ポスターの配布及び掲示
- ・西白井複合センターまつりのチラシを近隣の施設へ配布
- ・ホームページへ記載
- ・ブログへ掲載
- ・SNSの活用
- ・地域情報誌へ掲載

(4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・サロン開催や市民活動の場として多目的室を貸し出す
- ・保護司の活動に協力する (対話場所を提供)
- ・ロビーなどで、地域住民が交流できる場を提供
- ・清水口小学校区まちづくり協議会の設立準備へ協力 (会議場所を提供)

(5) 「アフターコロナ (withコロナ)」を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・定期的に館内の環境整備や衛生管理を実施
- ・施設利用者に「館利用チェックリスト」への記入依頼を続ける
- ・職員のマスク着用、体調管理を奨励している

令和 7 年度 白井駅前公民館 事業計画 (案)

1 課題

(1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・多世代の交流の場が少ない
- ・子育て世代が気軽に参加できる場が少ない
- ・子ども・青年が気軽に参加・学べる機会が少ない
- ・新規の利用者が少ない

2 運営方針

令和7年度 白井駅前公民館 運営方針

(1) 全体の運営方針

・多世代交流可能なイベント創出によるにぎわいづくり ・親子参加やこども対象の教室・講座を通して健やかな成長に寄与する ・個人単位で参加可能な新規教室・講座を提供する
--

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て中の保護者へ子育て支援する機会を創出する ②子育て中の保護者へ子育て知識を深める機会を創出する ③子育て中の保護者へ仲間作りの機会を創出する
青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流機会を創出する ②学習や体験活動を通して、学ぶことの楽しさを実感する機会を創出する ③学生生活の充実に寄与する機会を創出する
成人教育 (3)	①教室や講座を通して学びや交流の機会を創出する ②教室や講座を通して健康増進を図る機会を創出する ③教室や講座を通して文化教養を学ぶ機会を創出する
団体育成 (4)	①新規団体立ち上げやサークル活性化をサポートする機会を創出する ②情報提供を行い、市民活動に参加するきっかけづくりを支援する

(3) 令和7年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

・気軽に来館してもらえるよう新規講座・教室を提案する ・気軽に来館してもらえるよう教室・講座や予約システムについての紹介を充実させる
--

3 白井駅前公民館 講座等実施計画書

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R6年度(含見込)	
家庭教育 (1)	子育て支援講座	①②③	1	回	10	人	10	人
	離乳食教室	①②③	1	回	20	人	20	人
	読み聞かせ会（ママお子さん飲み物付き）	①②③	4	回	10	人	40	人
	SDGsおもちゃ書籍交換会	①②③	1	回	30	人	30	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
青少年 教育 (2)	指定管理業務インターン	①②③	1	回	10	人	10	人
	夏休みこども体験教室（科学・木工・楽器作り）	①②③	1	回	各10	人	30	人
	ママ・パパ・お子さん絵画展	①②③	1	回	20	人	20	人
				回		人		人
				回	20	人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
成人 教育 (3)	スマホ講座	①②③	2	回	10	人	20	人
	お金のセミナー	①②③	2	回	10	人	20	人
	そば打ち体験	①②③	2	回	10	人	20	人
	健康麻雀教室	①②③	10	回	12	人	120	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
団 体 育 成 (4)	予約システム勉強会		2	回	10	人	20	人
	みんなでかんたん健康診断		2	回	50	人	100	人
	ユースボランティア養成		1	回	10	人	10	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人

(2) 講座以外に行う事業

- ・地域懇談会（利用団体連絡会総会）
- ・白井市第5次総合計画戦略3拠点創造プロジェクトの推進（輪音）
- ・駅前ボランティア
- ・白井駅前センターフェスティバル

(3) 情報の提供

- ・センターだより・子育て通信・ブログ掲載・自主事業ポスター展示
- ・地域情報誌掲載・利用者の活動ポスター展示

(4) 施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供
- ・多世代が交流できる場の提供

(5) 「アフターコロナ（withコロナ）」を意識した対応

- ・日々の運営の中で衛生管理や環境整備の徹底

令和7年度 桜台公民館 事業計画 (案)

1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

(1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・広報が月刊紙になったため募集日と開催日を再考する必要がある。
- ・当センターは公民館と児童館が同じ館内にあるため、家庭教育と青少年教育の講座対象やねらいが被っているものがある。合同で開催するにしても精査する必要がある。
(学ぶKidsシリーズ・さくらだいクラブ・いちご組)

令和7年度 桜台公民館 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・健康に特化した講座
- ・新規サークルのサポート

(2) 分野別方針 (※箇条書き、①②③・・・と頭につけること)

	運営目標
家庭教育 (1)	①多様な環境での子育てを支援し、子育てに対する意識を高める ②同世代の子ども同士、その保護者同士の出会いと交流の場と機会を提供する ③地域健全育成を図り、子育てによる閉塞感を緩和する
青少年教育 (2)	①異年齢、異学区の子ども同士や地域との交流を図り、社会性を養う ②想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、学習、活動の機会を提供する ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 (3)	①体を動かす楽しさを知り、運動機能の低下を防ぐ ②地域に興味を持ち、郷土愛を育てる ③同じ趣味を持つ仲間づくりを支援する ④新しいことにチャレンジする意欲を支援する
団体育成 (4)	①新しくサークルを立ち上がったサークルが軌道に乗るよう支援する

(3) 令和7年度 特に重点的に実施していく項目(分野や講座、事業など)

- ・青少年教育講座をまとめて、さらに深く学ぶことができるように企画する(さくセンウォーク+さくらだいクラブ⇒状況によってさくセン合宿にし、自分たちの暮らす地域にさらに興味を持つことができるような講座へと変更する)
- ・家庭教育をまとめて、参加しやすい講座を企画する(子育てサロンといちご組と1歳児～3歳児サークル⇒対象が被る講座はニーズを絞って企画する)

3 桜台公民館 講座等実施計画書

(感染症等の影響に関係なく、現時点での予定を記載のこと)

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R6年度(含見込)	
家庭教育 (1)	赤ちゃん広場「いちご組」	①②③	10	回	10	人	10	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
青少年 教育 (2)	学ぶKids「さくセン合宿」	①②③	1	回	15	人	7	人
	学ぶKidsシリーズ	①②	3	回	各15	人	のべ46	人
	さくセン子ども企画部	①②③	3	回	5	人	4	人
	さくセン子どもボランティアに挑戦	①③	1	回	5	人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
成人 教育 (3)	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～	②③	2	回	8	人	5	人
	大人のチャレンジ講座	③④	1	回	8	人	のべ12	人
	桜台キッチン	③④	1	回	12	人	12	人
	リフレッシュ倶楽部	①③④	2	回	各15	人	13	人
	アフター7講座	①③④	2	回	各12	人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
団 体 育 成 (4)	スマイルさくらのサポート	①	6	回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人

(2) 講座以外に行う事業 (※箇条書きで)

- ・「さくセンフェスタ」
- ・地域交流イベント「地域イズム」
- ・利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会（全3回）
- ・もっとほっとルーム
- ・Y S B 桜台&ハートの会協力（場所提供）

(3) 情報の提供 (※箇条書きで)

【紙媒体】

- ・さくセン通信（桜台センター月刊情報紙）
- ・児童館だより（桜台児童館月刊情報チラシ）
- ・広報しろい（随時掲載依頼）
- ・ポスター、チラシなどの掲示と配布

【web】

- ・ホームページ
- ・ブログ
- ・SNS（Facebook、Instagram）

(4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・貸館業務の充実（当日でも空いていれば利用可能）
- ・市の健診は休館日に行う
- ・期日前投票所
- ・Y S B 桜台&ハートの会協力（場所提供）
- ・ちば県立湖北特別支援学校保護者に駐車スペース提供

(5) 「アフターコロナ（withコロナ）」を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・募集人数を講座内容によって増やす
- ・さくセン合宿を復活させる予定
- ・スマホやタブレットが苦手な人向けに行っていたデジタル講座は、他センターでもスマホ講座が始まったり、当センター開催講座の応募者数が減ったため、ニーズがほぼないと判断し、今年度の開催は見送る予定

令和7年度 学習等供用施設 事業計画（案）

1 課題（※箇条書き、施設等のハード面は除くこと）

（1）講座や事業などに対する運営上の課題

- ・センター利用団体参加者の高齢化による活動の沈滞化
- ・大きな事業を実施する際のサポートボランティアの高齢化による減少
- ・乳幼児親子を対象とした講座の参加者が減少している
- ・講座受講からのサークル化がリーダー不足により難しくなっている

2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

令和7年度 学習等供用施設 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・「市広報紙」「センターだより」等によりセンター情報の周知に努める。
- ・センター利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規参加者の獲得を支援する。
- ・施設内に事務所を置く地区社会福祉協議会、まちづくり協議会等との連携強化を図る。

（2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 （1）	①子育て家庭の交流の場を提供し、子育てに関する不安や悩みの解消を図る。 ②子育て経験の豊富なボランティアとの交流により子育てについて学ぶ。 ③親子のコミュニケーションを深める。 ④遊びや学びの場を提供し、子供たちの視野を広げ、社会性や協調性を育む。
青少年教育 （2）	①学習・体験活動を通して視野を広げ、「知る」楽しさを学ぶ。 ②年齢にとらわれない子供たちによる交流の場を提供する。 ③講座等を通して様々な人との交流を促し、社会参加の促進を図る。 ④子どもの居場所の提供。
成人教育 （3）	①講座等を通して同じ趣味の人との交流の場を提供する。 ②世代を超えた生涯学習の楽しさを知る学習の場を提供する。 ③健康の保持や生きがいづくりをサポートし、健康寿命の延伸を図る。 ④自然に親しむ場を提供し、緑ある住環境の保全と推進を図る。
団体育成 （4）	①地域団体の活動をサポートし、団体の育成や連携を図る。 ②市民や各種団体等の交流を推進し、活動の活性化を図る。 ③より多くの市民が集う機会を提供し、地域の絆を深める。

(3) 令和7年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・受講希望者が多い人気講座を継続開催し、サークル化を目指します。
- ・施設利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規会員の募集を支援する。
- ・参加者同士の交流促進を図るため、聴講だけでなくグループワークを含めた講座（料理教室等）の開催を増やしていきたい。

3 学習等供用施設 講座等実施計画書

（感染症等の影響に関係なく、現時点での予定を記載のこと）

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R6年度(含見込)	
家庭教育 (1)	ぴよぴよタイム	①③	3	回	各15	組	延52	組
	喫茶室「みるく」	①②③	9	回	各30	組	延87	組
	おやこであつまれ	①③	10	回	各15	組	延65	組
	ベビーリトミック	①③	1	回	8	組	9	組
	ママハピタイム	①	1	回	8	組	—	組
青少年 教育 (2)	夏休みチャレンジ講座（絵画教室）	①②	1	回	20	人	20	人
	〃（プログラミング教室）	①②	1	回	10	人	10	人
	〃（クラフト教室）	①②	1	回	10	人	—	人
	冬休み書初め練習会	①②	2	回	各10	人	延21	人
	ふじセン秋まつり	②③	1	回	250	人	270	人
	土器ッと古代	①②	1	回	20	人	20	人
	キッズ防災教室	①②	1	回	12	人	12	人
	詰将棋にチャレンジ	①②③	1	回	10	人	3	人
	将棋体験教室（全2回）	①②③	1	回	10	人	4	人
	元アマ名人将棋教室	①②③	1	回	10	人	8	人
	囲碁体験教室（全2回）	①②③	1	回	10	人	2	人

成人 教育 (3)	クッキング教室	①②③	3	回	各8	人	16	人
	飾り太巻き寿司教室	①②③	1	回	8	人	7	人
	シュートレン教室	①②③	2	回	各12	人	延20	人
	そば打ち体験教室	①②③	1	回	8	人	8	人
	カラーセラピー診断	①②③	1	回	8	人	7	人
	終活支援講座	①②③	2	回	各10	人	延22	人
	家庭菜園教室	①②③④	1	回	15	人	6	人
	ヨガ教室	①②③	1	回	12	人	11	人
	薬膳&ヨガ教室	①②③	3	回	各8	人	延22	人
	スマホ教室	①②③	2	回	各20	人	24	人
	普通救命講習会	①②③	1	回	12	人	10	人
	バランスボール教室	①②③	1	回	20	人	20	人
	色の習い事相談	①②③	1	回	8	人	—	人
団 体 育 成 (4)	世代間交流	①②③	1	回		人	41	人
	富士センター音楽祭	①②③	1	回		人	198	人

(2) 講座以外に行う事業 (※簡条書きで)

- ・ハッピーハロウィーン
- ・トイトイランド
- ・体育館で遊ぼう
- ・クリスマス会
- ・富士センターフェスティバル
- ・美化交流会
- ・映画&音楽鑑賞会
- ・ふじっこダイニング
- ・シニア食堂
- ・憩いのサロン
- ・第三小学校児童早朝あずかり

(3) 情報の提供 (※簡条書きで)

- ・市広報紙へのセンター自主開催講座等の情報掲載依頼
- ・センターホームページ及びX (SNS) への自主開催講座等の情報の掲載
- ・センターの情報を掲載した「センターだより」「児童ルームだより」の発行
- ・自主開催講座等の個別宣伝ポスターの作成、館内掲示
- ・上記で作成発行した「センターだより」「児童ルームだより」「宣伝ポスター」等を第三小学校区内の自治会へ回覧、小学校児童への配布、近隣店舗等への掲示を依頼
- ・フェスタ等の大きなイベント開催時には地域情報サイト「しろいまっち」や地域情報紙「地域新聞」等に情報を提供し、掲載を依頼

(4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・ロビーを市民に開放
- ・児童ルームを子育て親子の交流の場、子どもの居場所、交流の場として開放
- ・1階休養室を高齢者の憩いの場、交流の場として開放
- ・2階学習コーナーを中高生の学習の場として開放
- ・市民や団体等に学習の場、リクリエーションの場、会合や交流の場として部屋を貸出
- ・地域自治会等の行事に施設保有備品等を貸出

(5) 「アフターコロナ (withコロナ)」を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・職員に出勤前の体温測定、体調確認を奨励、マスクの着用は任意とする。
- ・センター入口に体温測定器及び手指消毒液を配置し、体温測定、手指の消毒を奨励する。
- ・施設利用者の希望により体温測定器及び備品消毒液を貸し出しする。
- ・ロビーや各部屋に空気清浄器を設置。
- ・自主事業開催時には、ソーシャルデスタンスの確保、感染予防に配慮する。
- ・感染状況に注意を払い、状況に即した感染予防対策を実施する。

令和7年度 青少年女性センター 事業計画（案）

1 課題（※箇条書き、施設等のハード面は除くこと）

（1）講座や事業などに対する運営上の課題

- ・各講座の周知において、広報紙や地域情報紙、学校チラシ以外でも幅広く目に留まる工夫や参加しやすい環境整備
(広報しろいが月1発行にかわり募集をかけるタイミングを考える。)
- ・市民が興味関心のもてるテーマでの男女共同参画推進講座の実施。
- ・専門性の高い講師への講座依頼における講師料の調整。

2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

令和7年度 青少年女性センター 運営方針

（1）全体の運営方針

・「住民1人ひとりの福祉ニーズに対応し、みんなが安心して暮らせるまちづくりの実現」を目指し取り組む。 ・「誰もがありのままにその人らしく」をコンセプトに、子どもから高齢者までの各年齢層が気軽に参加・交流できる事業の実施。 ・「青少年の健全育成や女性の社会活動、高齢者や障がい者の社会活動としての拠点としての役割を担う」

（2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し悩みや不満を解消出来る機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 (2)	①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間づくりを推進する。 ②市内の小学生を対象に、体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④子どもの自立と家事参加を応援する。
成人教育 (3)	①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親やDV被害者の女性を優先し自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性居場所づくり。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、コミュニティーの場を提供する。
団体育成 (4)	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動の支援をする。 ②対人関係が苦手なかなか社会に参加することが難しい女性に交流の場を提供する。 また社会参加の機会を提供する ③障がい者のための生涯学習を支援する（余暇活動）。

（3）令和7年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

・興味関心のもてる男女共同参画推進に向けた講座の実施。 ・センターフェスティバルで行った、男女共同参画イベント「落語で笑って男女共同参画」が好評で今後も継続的に行い男女共同参画を推進していこうと考える。
--

3 青少年女性センター 講座等実施計画書

(感染症等の影響に関係なく、現時点での予定を記載のこと)

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R6年度(含見込)	
家庭教育 (1)	子育て支援講座 (ハッピースマイル術)	①・②	3	回	40	人	10	人
	おやこチャレンジ体験講座 (おやこチャレンジ)	③	7	回	130	人	98	人
	お父さんと子どもの料理教室	③	1	回	20	人	20	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
青少年 教育 (2)	中高生向け体験講座 理系ナビ	③	1	回	10	人	10	人
	中高生向け体験講座 文系ナビ	③	1	回	10	人	中止	人
	小学生向け体験講座 きっずトライ! 「」	①・②・④	1	回	20	人	12	人
	小学生向け体験講座 親子バイオ実験教室 「」	①・②・④	1	回	48	人	46	人
	小学生向け体験講座 「プログラミングで作って遊ぼう!」	①・②	2	回	10	人	10	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
成人 教育 (3)	女性支援講座(ストレスフリー講座)	⑤、⑥	2	回	20	人	20	人
	男女共同参画講座 「お父さん出番ですよ!」	⑥	1	回	20	人	20	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
団体 育成 (4)	自助グループの育成 (こころのcafe)	②	10	回	50	人	0	人
	障がい者のための生涯学習講座	③	1	回	12	人	3	人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人

(2) 講座以外に行う事業 (※箇条書きで)

- ・季節に沿ったイベントの開催
- ・就労支援B型事業所みのり（白井市福祉作業所）との合同事業（あじさいまつり、七夕まつり、ハロウィン、クリスマスミニコンサート、節分、センターフェスティバル、カラオケのど自慢）
- ・居場所作り「こころのcafé」の開催

(3) 情報の提供 (※箇条書きで)

- ・月初に当センターで行う開催予定講座等の情報紙、清戸の杜を発行（年12回）
- ・講座・行事情報は、広報しろい、社協しろい、市HP、市line配信、社協HP、facebookにて情報提供
- ・各講座チラシを作成し、各関係機関に配布、掲示の依頼
- ・就労に関する情報提供

(4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・青少年、女性団体、グループなどで行う施設の提供
- ・青少年の健全育成に携わる者が行う会議等のための施設の提供
- ・青少年の健全育成及び女性の社会活動に資する情報及び資料の提供
- ・ご意見箱を設置し利用者からの意見や要望を聞きとり、よりニーズに合った施設の提供

(5) [withコロナ]「afterコロナ」時代に向けた対応 (※箇条書きで)

- ・出入口に足踏み式消毒液及び、非接触型体温計の設置（継続）
- ・各部屋の消毒は利用したサークルが行う